

市政懇談会 「留萌百年物語」

「新・協働時代」をテーマにまちづくりを進めます。



市政懇談会「留萌百年物語」に参加していただいた市民の皆さんの意見に対する、市の対応方針の主な項目を紹介いたします。

昨年11月の 市政懇談会の概要

昨年、11月6日に留萌産業会館で開催した市政懇談会では「協働によるまちづくり」を進める中で、地域において活躍されている防災連絡員や民生児童委員、健康いきいきサポーター、環境美化推進員の皆さんに参加いただき新たな試みとしてグループ討議形式を取り入れました。

参加された皆さんから「大人数の懇談会ではなかなか発言できないが、グループ別なので発言しやすい」と好評で、活発な意見交換となりました。

広報1月号では、グループ討議でいただいた意見から主なものを紹介

しましたが、今月号では、意見に対して市の各部署で十分な議論を重ねた対応方針の主な項目を、平成23年度に進める4つの重点的な取り組みである「地域経済の活性化」「健康で笑顔あふれるまちづくり」「夢と可能性が育つまちづくり」「安心安全なまちづくり」ごとに紹介します。

市政懇談会の開催結果は、市ホームページに掲載しているほか、各町内会に1部ずつ配布しています。

市政懇談会に関するお問い合わせは
市・企画調整課 ☎42・1809
市ホームページ <http://www.e-rumoi.jp>

地域経済の活性化

道の駅の建設

道の駅の建設については、市民の皆さんから賛否両論さまざまな意見をいただいています。

財政の健全化に取り組んでいる現状では、新たな施設の建設は難しい状況ですが、皆さんからいただいた意見を参考に、慎重に検討していきます。

お勝手屋「萌」の支援 や留萌駅の有効活用

お勝手屋「萌」は現在、NPO法人留萌観光協会運営のもと、留萌の特産品や留萌産食材などを活用した新商品の販売、観光案内機能を有するアンテナショップとして、観光客はもとより、多くの市民の皆さんにもご利用いただいています。

また、今年度整備された留萌駅前の広場についても、いくつかのイベ

ントが開催されています。

市としても、お勝手屋「萌」、昨年開駅百年を迎えた留萌駅、エフエムもえるなど、留萌の情報発信機能が集まる留萌駅周辺の有効活用について、観光協会などと連携しながら取り組んでいきます。

雇用問題

人口の減少や景気の低迷などにより企業も経営の縮小、業務の見直し、撤退、廃業といった状況があり、市内の雇用環境は厳しい現実となっています。

このことが、働く場所がないため人口が流出し、人口減によりまた経済が冷え込み、経済の低迷により雇用が生まれないといった負の連鎖に陥っている状況です。

このような状況を解決するための特効薬はありませんが、国や道の施策を的確に捉え、地域の再生に繋がる事業を進めながら、1人でも多くの雇用が実現されるように各方面に

商店街の活性化

働きかけます。

また、企業の異分野進出や起業による活性化も支援していきます。

現在、市内商店街は人口の減少や郊外型大型店の進出、交通事情の進展、コンビニエンスストアやドラッグストアの台頭、ラルズプラザの撤退などにより、活気が低迷しているほか、消費の市外への流出が顕著と

なっています。

また、後継者不足や経営不振で廃業となり、空き店舗が発生するなど商店街の形成も難しくなっています。

市としては、各商店街や商店街振興組合連合会が中心となった「がんばり」に期待しているところですが、商工会議所なども連携しながら、今後の商店街のあり方についての確かな議論を展開していかなければならないと考えています。

また、るもいプラザを活用したイベントや賑わい創出への取り組みに対しても、引き続き支援していきます。



健康で笑顔あふれるまちづくり

市立病院の職員対応

患者様への対応については、院内にCS（顧客満足度委員会）を設置し、外来待ち時間の短縮、病院給食改善、接遇改善、地域住民交流、広報活動を行っています。

特に接遇研修は、毎年講師を迎えて実施しており、今後も窓口対応職員も含めた確かな説明と接遇改善に努力してまいります。

うな場合でも、産婦人科医、外科医、麻酔科医、小児科医など万全の体制を備えております。

また、特別な合併症などにより当院での出産が困難な場合でも、患者様と相談の上、適切な医療機関への紹介を行っていますので、安心して受診していただきたいと思います。

今後においても、現在の診療体制の維持、強化を目指し努力を続けていきます。

出産体制の充実

市立病院産婦人科は現在、留萌管内唯一の分娩施設として、地域の皆さんが満足できる安全で幸せな出産を目指し、常勤医師1名と非常勤医師1名の2名で24時間365日、全出産に産婦人科医が立ち会う体制となっています。

万が一、緊急に帝王切開になるよ

健康の駅の取り組み

健康の駅では、健康に対する身近な知識を持ち、アドバイスができる市民を増やすため、定期的な健康講話などを開催していますので、お気軽に参加ください。

また、町内会事業や各種イベントなどでも活用できる健康講座のメニューも取り揃えていますので、多くの市民の皆さんに活用していただきたいと思えます。

小中学校のスキー授業やリサイクルへの取り組み

小中学校のスキー授業は、学校の裏山を利用したり、バス運賃を節約するため、4時間ずつ3日間で行っていた授業を、6時間ずつ2日間にして時間を省くことに実施日数を減らすなど、学校ごとに工夫しています。

また、今年度から市PTA連合会が主体となり、不要になったスキーのリサイクルを保護者間で取り組んでおり、今後も継続することになっています。

公園の整備

閉鎖したトイレ、水飲み場の利用の再開については、財政の健全化が終了した時点で検討していきます。

また、公園の遊具についても、規模の小さい公園（錦町公園、ひまわり公園など）の利用状況を考慮し、設置について検討します。

中規模の公園（高砂公園、潮静公園など）や大きな公園（神居岩公園、浜中運動公園、見晴公園）は、「公園長寿命化計画」を策定し、計画的に遊具などを順次更新してまいります。



夢と可能性が育つまちづくり

温水プールの再開

温水プールは、新・財政健全化計画により、平成27年度までの7年間の休止となりましたが、子どもたちの健全な育成や市民の健康増進のためには必要な施設です。

温水プールの再開は、財政の状況を見ながら考えなくてはなりません。子どもたちの夢と可能性を育む

子供たちが留萌の海を体験する機会

教育委員会で「磯のいきもの観察会」などの事業を行っています。今後も子供たちに留萌の海を体験してもらう機会を設けていきます。



安心安全なまちづくり

クリーンステーションの維持管理

平成22年度にクリーンステーションの適正な維持管理を行うための調査を実施しています。

今後は、調査結果をクリーンステーションの更新計画などの参考にしていきます。

防災行政無線

防災行政無線の屋外拡声器は、以前から「放送が聞きにくい」というご指摘を受けています。

今後も、放送する際の声の発声、間隔の方法を工夫するなど、聞きやすい放送に努めていきます。

また、エフエムもえるのラジオ放送や、広報車を通じての巡回広報も行っていますので、日ごろから地震や台風などの災害に対する備えをお願いします。

防災活動

市では、対象地域を指定して行う市民防災訓練のほか、自主防災組織や町内会単位での防災訓練のお手伝いを行っています。

また、避難対応マニュアルなどは、市のホームページに掲載している以外に、防災訓練などのときに担当者が向いて説明しています。

平成23年度には、防災連絡員の方々を対象に、情報伝達訓練を計画しています。

道路整備

道路整備は、道路パトロールを行い、交通量が多く、緊急性の高い箇所から補修を行っています。

また、抜本的な道路改良工事は「道路五カ年計画」により実施していきます。